

学校だより



育ての泉

大津市立膳所小学校 児童数625人
「ひとり立ちできる子ども」

- なかよくする子ども
- よく考える子ども
- 心の豊かな子ども
- じょうぶな子ども

HP <http://www.otsu.ed.jp/zeze/>
平成28年10月7日発行

『平成28年度全国学力・学習状況調査分析結果について』

調査の目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

【本校の結果について】

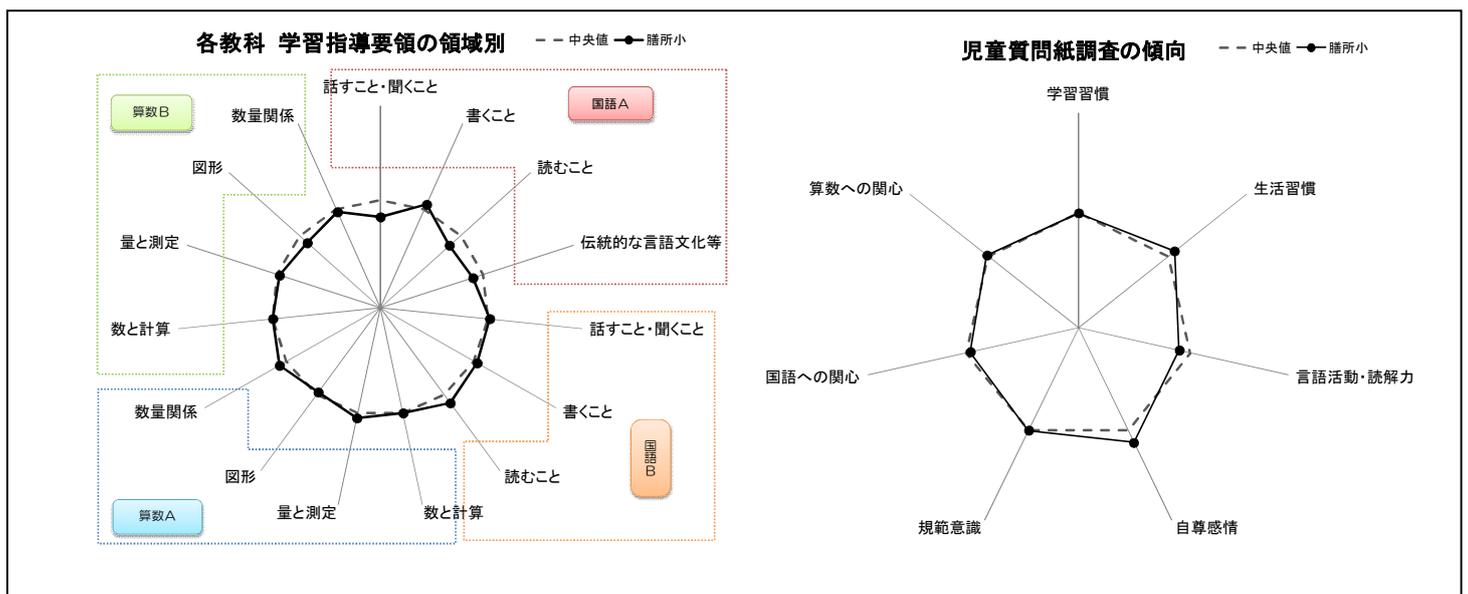
《概要》

国語A、国語B、算数A・算数Bの全ての教科において、全体の正答率が滋賀県や全国の平均を上回っていました。内容の項目では、国語Aの「話すこと・聞くこと」と「読むこと」のみが全国や滋賀県と比べて若干下回っていましたが、その他の項目については、全て滋賀県や全国を大きく上回っていました。児童質問紙調査では、「各教科への関心」「規範意識」などの項目で、滋賀県や全国の平均を下回るものが一部見られました。また、学ぶ姿勢や学び方について、学習課題に進んで取り組むことや、友達と話し合い、関わり合って学ぶことなどが今後の課題と考えられます。

《強み・弱み》

A問題（基礎的・基本的な知識や技能の定着を見る）と、B問題（基礎的・基本的な知識や技能を活用する力の定着を見る）では、特にB問題が良い傾向でした。これは、知識や技能を活用するために、児童自らが発見したり表現したりする活動を意識してきたことや、保護者の皆さんと連携して取り組んできた「のびのびウィーク」の成果であると考えられます。しかし、「進んで課題に向かう姿勢」や「友達と考えを深めたり広げたりする活動」には意識の低さが見られました。

◇強み・弱みレーダーチャート◇



※レーダーチャートのグラフは、全国平均と本校平均のポイント差に基づいた中央値との比較になっており、全国平均とそのまま比較したものではありません。破線は、中央値を表しており、破線より外側の項目は本校の強みを（成果が現れている項目）、内側の項目は本校の弱みを（改善を検討する項目）を表しています。

【指導の充実に向けて】

- ◇学習への関心を高め、友達と考えを深めたり広めたりする活動の経験を増やすため、アクティブ・ラーニング等の参加型学習を取り入れ、「できた」「分かった」と実感できる授業をめざします。
- ◇各教科における言語活動をさらに充実させ、読むことと書くこと、話すこととの関連を図った取り組みを進めます。
- ◇基礎的・基本的な内容を定着させるために日常の継続的な取り組みを進めます。
- ◇学習習慣を定着させるために、「家庭学習のびのびプロジェクト」を継続し、家庭との連携をさらに深めます。

膳所小学校HP「今日の膳所小」より

調理実習（こじか学級）



膳所幼稚園からの招待状



特設陸上クラブ



安全の日



こじかのカレンダー配付



2年校外学習（京都水族館）

